



## 【校長あいさつ】

この度の定期異動で、球磨郡多良木町にある「県立球磨支援学校」の校長から、本校の第29代校長となりました打越博臣（うちごしひろおみ）です。小国郷での勤務は初めてとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校は、大正11年（1922年）設立の南小国村・北小国村組合立実科高等女学校を前身として、幾多の変遷を経て、昭和26年（1951年）3月に熊本県立小国高等学校として独立し、3年後（2022年）に創立100周年を迎えます。

本年度の生徒数は143人。小国郷の温かい人情が織りなす歴史文化と大自然の中で心豊かに育った生徒たちが、伝統ある本校に脈々と受け継がれてきた三綱領「尚志」・「勉学」・「自主」の精神の下、志を高く掲げ、ひたむきな努力と挑戦を続けています。

校長としては、小国郷にある唯一の高校として、地域から信頼され、期待され、そして、愛される学校となるよう、本年度は、以下の「テーマ」と「コンセプト」を掲げ、教職員が心を一つにして、生徒の『夢』実現のために、小国高校の魅力化と永遠の発展の会をはじめ、地域の皆さま、そして、保護者の皆さまとともに、歩んで参りたいと思います。

テーマ『挑戦』～ 教師が挑戦する、生徒の挑戦を支援する ～  
コンセプト『生徒たちが学校に来る喜び』 『先生たちが教える誇り』  
『保護者が生徒の成長を見て取れる楽しみ』

具体的な取り組みとしましては、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた最適な指導・支援や合理的配慮を行い、「徳（豊かな人間性）・体（健康と体力）・知（確かな学力）」の調和のとれた「生きる力」を備えた総合的人間力の育成に努めるとともに、郷土に思いを馳せ、生涯にわたって「郷土に誇りを持てる人材」に育てたいと思っております。

なお、目指す学校の姿（求める生徒像、求める学校像、求める教師像）は、以下のとおりです。



【校庭の枝垂れ桜（4/8撮影）】

目指す学校の姿

「生徒たちが笑顔で登校し、夢の実現が叶う学校」

求める生徒像

- 基本的な生活習慣が確立し、自ら考え、自ら行動する自主・自律の精神に溢れる生徒
- 個性の伸長と社会性の涵養を図り、素直で思いやりのある心、感謝の心を持った生徒
- 徳育の成果に裏付けられた知育・体育の方針を貫き、将来のリーダーになることをしっかりと自覚し、他者のために学び、実践する生徒
- 郷土に感謝し、郷土を誇れる生徒

求める学校像

- 安全管理や危機管理がなされている安心・安全な学校
- 生徒や保護者の心や思いを第一に考える学校
- 保護者や関係者の満足感・安心感の得られる専門性の高い教育を実践する学校
- 保護者や地域から信頼され、期待され、愛される学校

求める教師像

- 生徒を愛し（愛情）  
生徒をみつめて（可能性）  
生徒の道を求めて（夢や希望）  
生徒と共に歩かん（共生）
- 組織の一員として自覚と責任を持ち、  
見識・人格の向上に努める教師
- 生涯にわたって学び続ける教師